

デザイン科	科目名	実習（写真）		
履修学科	デザイン科		担当者	
履修学年	第1学年	履修単位	3単位	
概要及び目標	①カメラの仕組み・操作について学習する。 ②ポートレート撮影について学習する。 ③シャッタースピード優先モードでの撮影を学習する。・3脚の操作について学習する。 ④絞り優先モードでの撮影を学習する。 ⑤マニュアルモードでの撮影を学習する。 ⑥レタッチ・プリントについて学習する。 ⑦写真を文字と組み合わせ作品として仕上げる。			
評価基準及び方法	写真に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識・技術】 写真に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】 写真に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。【主体的に取り組む態度】			
使用教科書及び教材	デジタルカメラ、PC(Mac)、プロジェクター、インクジェットプリンタ Adobe PhotoshopCS6、Adobe illustratorCS6、Adobe BridgeCS3、その他資料等			
その他留意点	1クラスを4分割し、1つのグループに対して全8回で完結する集中講義型の授業。			

学習計画

週	学習内容	備考
1	カメラの基本設定・構え方 (仕組み・使用方法・構え方)	1～3学期を4つのローテーションで展開
2	構図(目線・光)	
3	各モード撮影	
4	ホワイトバランス、TVモード、ISO感度	
5	フォーカスロック、AVモード	
6	撮影技術の復習を行う	
7	撮影技術の復習	
8	画像処理、プリントアウト	

デザイン科	科目名	デザイン材料			
履修学科	デザイン科		担当者		
履修学年	第 1 学年	履修単位	2 単位		
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、デザインにおける適切な材料を選択し加工した上で利活用することに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
評価基準及び方法	デザインに関わる材料の利活用について工業生産を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識・技能】 デザインに関わる材料の利活用や加工法に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】 デザインに関わる材料の利活用とよりよい生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 【主体的に取り組む態度】				
使用教科書	文部科学省著作教科書『デザイン材料』				
その他留意点	・刃物や有害材料等の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する。 ・学習者の興味関心によって学習の進め方は柔軟に行う。				

学習計画

月	単元名	学習内容	備考
4	・オリエンテーション ・(1) 私たちの生活と材料 ア 生活と材料	・1年間の授業の流れの確認 ・生活を支える材料の種類、特性及び活用方法を取り上げ、生活様態のデザインにおける材料の位置付けについて扱う。	・安全教育の徹底
5	・(1) 私たちの生活と材料 イ 材料の性質と特性 ウ デザインにおける材料の利活用	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。	・安全教育の徹底
6 7	・(2) 無機物材料の特性と加工技術 ア 金属材料 ウ ガラス	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。	・安全教育の徹底
9 10	・(3) 有機材料の特性と加工技術 ア プラスチック イ 木材	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。	・安全教育の徹底
11	・(3) 有機材料の特性と加工技術 ウ 紙類	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。	・安全教育の徹底
12	・(3) 有機材料の特性と加工技術 ウ 紙類	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。	・安全教育の徹底
1	・(3) 有機材料の特性と加工技術 エ 塗料と色材及び接着剤	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。	・安全教育の徹底
2 3	・(3) 有機材料の特性と加工技術 オ 皮革類 ・まとめ	・生活空間を構成する材料の種類、特性及び特徴について扱う ・デザインにおける効果的な活用方法について扱う。 ・今までの授業を振り返り、扱った材料や造形についての理解を深める。	・安全教育の徹底

デザイン科	科目名	デザイン実践	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第 1 学年	履修単位	2 単位				
概要及び目標	デザイン実践に関する知識と技術を習得させ、実際に創造し応用する能力を育てる。						
評価基準及び方法	(1)デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 (2)デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】 (3)デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】						
使用教科書及び教材	実教出版(株)発行『デザイン実践』、色彩検定 公式テキスト UC 級編						
その他留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刃物や有害材料等の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する。</li> <li>・学習者の興味関心によって学習の進め方は柔軟に行う。</li> <li>・色彩検定の受検は任意とし、検定受検者には授業での教材に加え、練習問題等で別途対応し合格を支援する。</li> </ul>						

学習計画

月	単元名	学習内容	備考
4	(1)工業におけるデザイン	ア. 工業製品の企画と計画 イ. ニーズとデザイン	・安全教育の徹底
5	(2)デザインと創造活動	ア. デザインの概要 イ. 形態観察と表示 ウ. 色彩	・安全教育の徹底 ・材料研究 ・演習
6 7	(3)ビジュアルデザイン	ア. ビジュアルデザインの概要 イ. グラフィックデザイン ウ. パッケージデザイン エ. 情報とデザイン	・安全教育の徹底 ・材料研究 ・演習
9 10	(4)プロダクトデザイン	ア. プロダクトデザインの概要 イ. 生活器具のデザイン ウ. 繊維や服飾のデザイン	・安全教育の徹底 ・材料研究 ・演習
11	(5)環境デザイン	ア. 環境デザインの概要 イ. 住空間のデザイン ウ. 公共空間のデザイン	・安全教育の徹底 ・演習
12	(1)工業におけるデザイン	ア. 工業製品の企画と計画 イ. ニーズとデザイン	・安全教育の徹底 ・演習
1	(2)デザインと創造活動	ア. デザインの概要 イ. 形態観察と表示 ウ. 色彩	・安全教育の徹底 ・材料研究 ・演習
2 3	(3)ビジュアルデザイン	ア. ビジュアルデザインの概要 イ. グラフィックデザイン ウ. パッケージデザイン エ. 情報とデザイン	・安全教育の徹底 ・材料研究 ・演習

デザイン科	科目名	工業技術基礎 (表示)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第1学年	履修単位	2単位				
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。						
評価基準及び方法	(1) 工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術の関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の発展に対応し解決する力を養う。 (3) 工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布						
その他留意点	平面構成、立体構成・表示で3ローテーション						

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション、完成までの流れを知る/レタリングについて学ぶ	平面構成、立体構成・表示で3ローテーション
2	基礎練習1(レタリング)	
3	基礎練習2(レタリング)	
4	基礎練習3(レタリング)	
5	文字デザイン:コンセプトを決め、アイディアスケッチ	
6	文字デザイン:制作1	
7	文字デザイン:制作2	
8	文字デザイン:制作3	
9	文字デザイン:制作4、発表準備	
10	文字デザイン:発表・講評会	

デザイン科	科目名	工業技術基礎 (立体構成)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第 1 学年	履修単位	2 単位				
概要及び目標	①紙の特性と扱い方について学ぶ。 ②素材の性質を生かし、美しい立体作品を制作する技術を習得する。						
評価基準 及び方法	授業態度・出席…10%、課題作品…70% 提出物(レポート・ファイル)…20% ローテーション内容を総合的に合計し、5段階評価で行う。						
使用教科書 及び教材	資料等、その都度配布						
その他留意点	平面構成、立体構成・表示で3ローテーション						

学習計画

週	学習内容	備考
1	課題①オリエンテーション…立体表現について/紙の特性について知る	平面構成、立体構成・表示で3ローテーション
2	課題②紙の特性について知る	
3	課題③基礎練習(正6面体)	
4	課題④コンセプトを決めテーマを考える/イメージした形の完成予定図制作	
5	課題⑤制作1	
6	課題⑥制作2	
7	課題⑦制作3	
8	課題⑧制作4	
9	課題⑨制作5/コンセプトシートのまとめ	
10	課題⑩発表・講評会	

デザイン科	科目名	工業技術基礎 (平面構成)			
履修学科	デザイン科		担当者		
履修学年	第 1 学年	履修単位	2 単位		
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
評価基準及び方法	(1) 工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術の関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。【知識・技術】 (2) 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の発展に対応し解決する力を養う。【思考・判断・表現】 (3) 工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【主体的に取り組む態度】				
使用教科書及び教材	教員製作資料(画像・印刷物)等				
その他留意点	学級を3チーム(約14名毎)に分け10週を目安に以下3部門を全て学ぶ ・表示・立体・平面構成				

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション(平面構成の概要) 簡易平面構成(下書きのみ)簡易プレゼンテーション	1～3学期を 3つのローテーション で展開
2	グラデーション演習(平塗り、色相・明度の使い分け)	
3	円と線、不透明水彩による平面構成 1/2	
4	円と線、不透明水彩による平面構成 2/2	
5	金属ネジと折り紙による平面構成 1/3	
6	金属ネジと折り紙による平面構成 2/3	
7	金属ネジと折り紙による平面構成 3/3 ・講評	

デザイン科	科目名	工業情報数理			
履修学科	デザイン科		担当者		
履修学年	第 1 学年		履修単位	2 単位	
概要及び目標	工業の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における情報技術への進展への対応や事象の数理処理に必要な資質・能力を次の通り育成する事を旨とする。				
評価基準及び方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。</li> <li>2. 情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</li> <li>3. 工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ol>				
使用教科書及び教材	パソコン利用技術検定試験 演習問題集 3 級 資料は都度配布				
その他留意点					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション:授業規則・内容、パソコン利用検定試験概要等説明	
2	Word概要	
3～8	Word による作図・表制作	
9	Word による数式作成	
10	全角・半角、情報単位の理解	
11～12	実技模試と誤答レポート	
13～14	過去問題集の解説と模試:周辺機器・OS・プログラム用語等	
15～16	過去問題集の解説と模試:周辺機器・ソフトウェアの種類等	
17	実践形式模試:実技及び筆記	
18～19	過去問題集の解説と模試:リテラシー等	
20～21	検定直前対策	
22～27	パソコン利用技術検定 3 級練習問題(筆記問題・実技問題)	
28	プレゼン基礎の理解	
29～31	パワーポイント:操作基礎	
32～34	パワーポイント:資料作成	
35～37	プレゼンテーション	
38	年度末振り返り	

デザイン科	科目名	実習(Photoshop)				
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第1学年	履修単位	3単位			
概要及び目標	①Photoshopの基本的な使用方法を習得する。 ②Photoshopを使い、写真加工やポスターなどに応用することができる。					
評価基準及び方法	①Photoshopに関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識・技術】 ②Photoshopに関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】 ③Photoshopに関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。【主体的に取り組む態度】					
使用教科書及び教材	・Illustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書 ・資料等、その都度配布					
その他留意点	1～3学期を4つのローテーションで展開					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション(Photoshopの概要)、Photoshop操作基礎	1～3学期を4つのローテーションで展開
2	描画操作基礎(イラストの絵描)	
3	色調補正	
4	写真の修正1	
5	写真の修正2	
6	画像合成1	
7	画像合成2	
8	プリントアウト、鑑賞・講評会	



デザイン科	科目名	実習（絵画基礎）	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第1学年	履修単位	3単位			
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
評価基準及び方法	<p>【知識及び技能】 絵画に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 絵画に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 絵画に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>					
使用教科書及び教材	その都度配布					
その他留意点	1～3学期を4つのローテーション(写真、立体、平面構成、絵画基礎)で展開					

学習計画

週	学習内容	備考
1	全体オリエンテーション ①デッサンの概要 ②道具の使い方③鉛筆デッサン ④グラデーション	1～3学期を4つのローテーションで展開
2	鉛筆デッサン ⑤鉛筆デッサン基本形態（球体・円柱）	
3	⑥鉛筆デッサン基本形態（立方体）	
4	⑦鉛筆デッサン（静物）	
5	⑧木炭デッサン ⑨グラデーション	
6	⑩木炭デッサン基本形態(球体・円柱・立方体)	
7	⑪木炭デッサン（静物）	
8	⑫鑑賞・講評	